

# ICT ニュース 2025/10 月

2025/10/21 発行 ICT/感染管理委員会

やっと秋らしい気候を取り戻してきた今日この頃ですが、皆さんの体調はいかがでしょう？  
 新型コロナウイルス感染症は注意報レベルが解除されましたが、季節型インフルエンザの全国的流行入りが始まっています。疾患をよく理解して日々の対策をしっかりと行いましょう。  
 今回は、手指衛生直接観察法の結果も掲示しましたので、参考にして自身の手指衛生の手技を振り返ってみてください。



## ○インフルエンザ

インフルエンザウイルスを感染した人の咳やくしゃみにより空気中に広がったウイルスを吸い込む、もしくは手に付着したウイルスが鼻や口の粘膜を通して体内に入り感染します。インフルエンザの症状は 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れ、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

## ○対策のポイント

- ◇ウイルスは乾燥に強いので“湿度調整”が影響する
- ◇予防のカギは“感染経路を断つ”+“免疫力を高める”こと
- ◇インフルエンザの感染対策のもう1つは“ワクチン接種”

## ○インフルエンザワクチンの種類は毎年異なるのを知っていましたか？

世界保健機関(WHO)は、世界での流行状況を参考に今年の流行を予測し、ワクチンの製造株を選定します。今年はこの種類になります。効果は接種後約 2 週間から現れ、重症化や合併症の予防に効果が期待できます。

2025/26 シーズンのインフルエンザワクチン株

インフルエンザの種類	ワクチン製造株
A 型 H1N1	A/ビクトリア/4897/2022(IVR-238) (2024/25 シーズンの製造株と同一株)
A 型 H3N2	A/パース/722/2024(IVR-262) (2024/25 シーズンの製造株から変更)
B 型 ビクトリア系統	B/オーストリア/1359417/2021(BVR-26) (2024/25 シーズンの製造株と同一株)

出典：厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部(2025)「令和 7 年度インフルエンザ HA ワクチン製造株の決定について」(感発 0530 第 1 号)



※2 歳から 18 歳を対象にしたフルミスト(経鼻弱毒生インフルエンザワクチン)もあります。

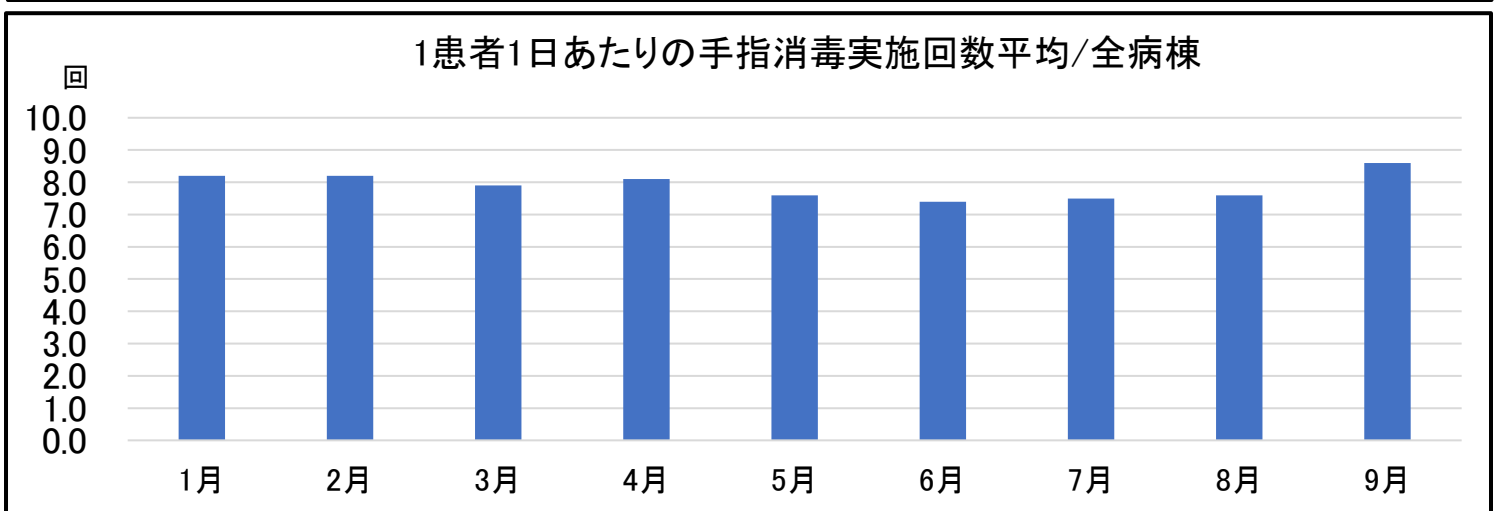
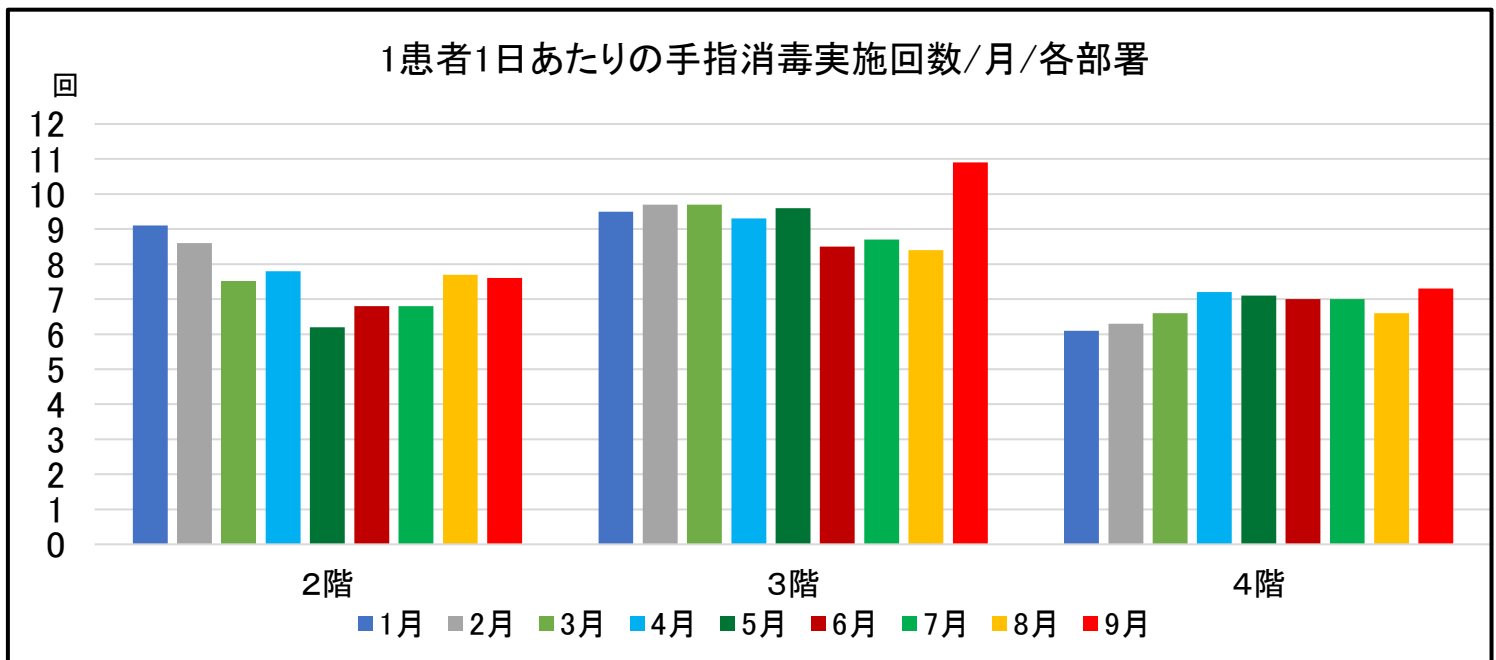
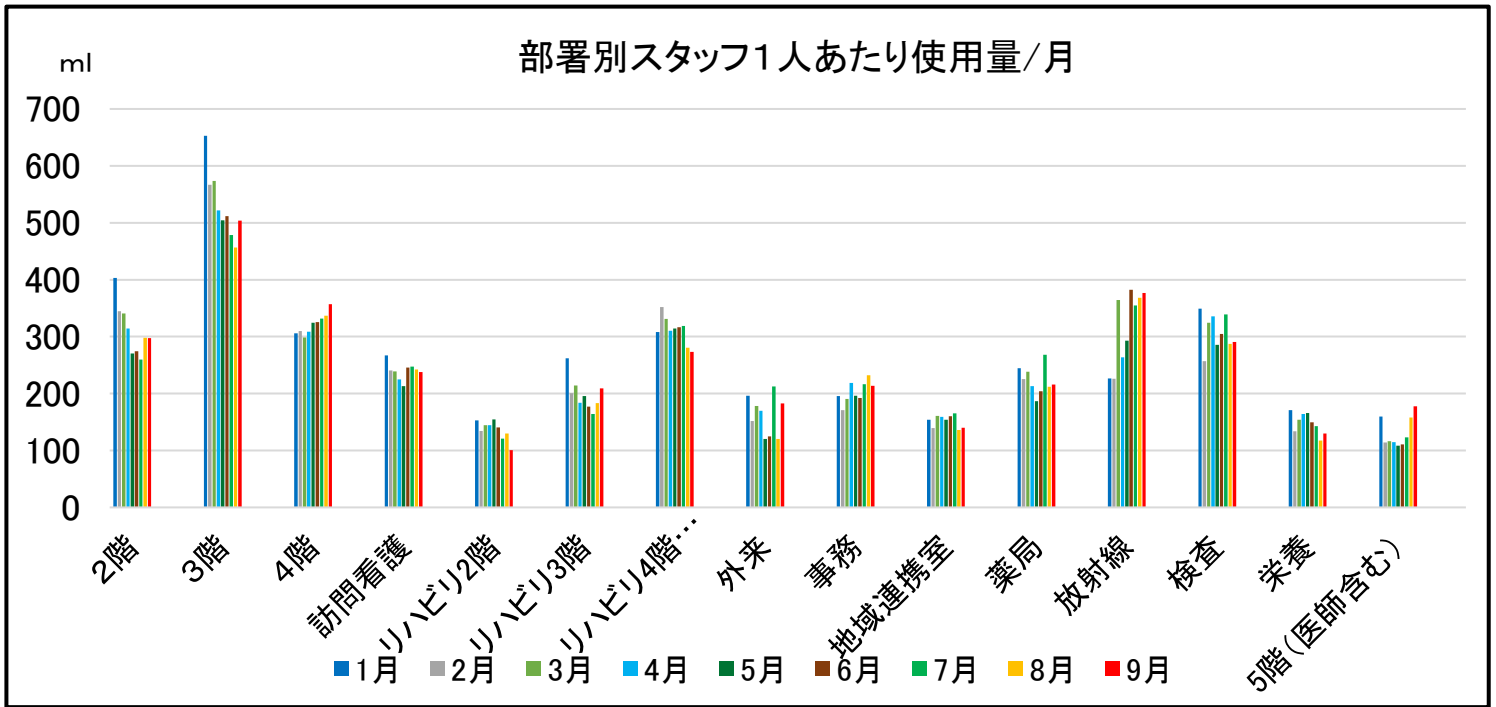
## ○隔離時に必要な物品の管理場所



持ち出し時、返却時に貸し出し簿の記入と物品補充を忘れずをお願いします(詳細はマニュアル参照)

# ★2025 年アルコール手指消毒剤使用量

123 年～2025 前期

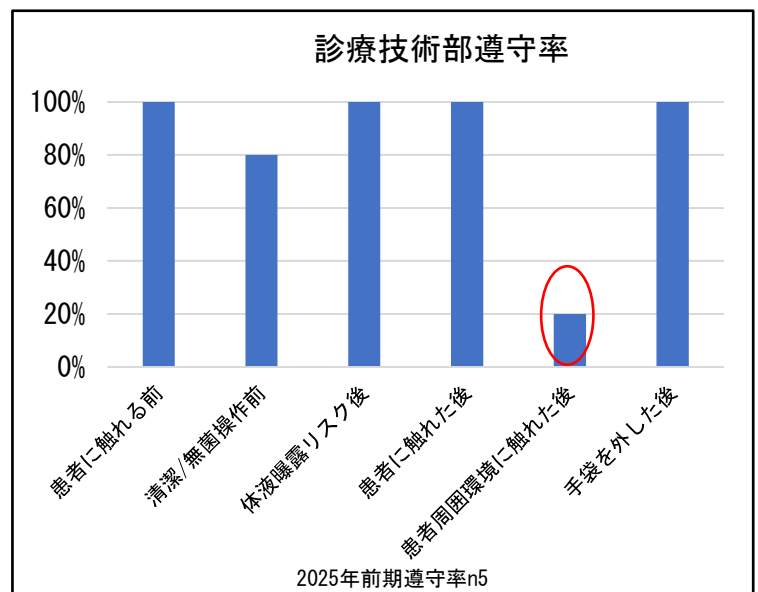
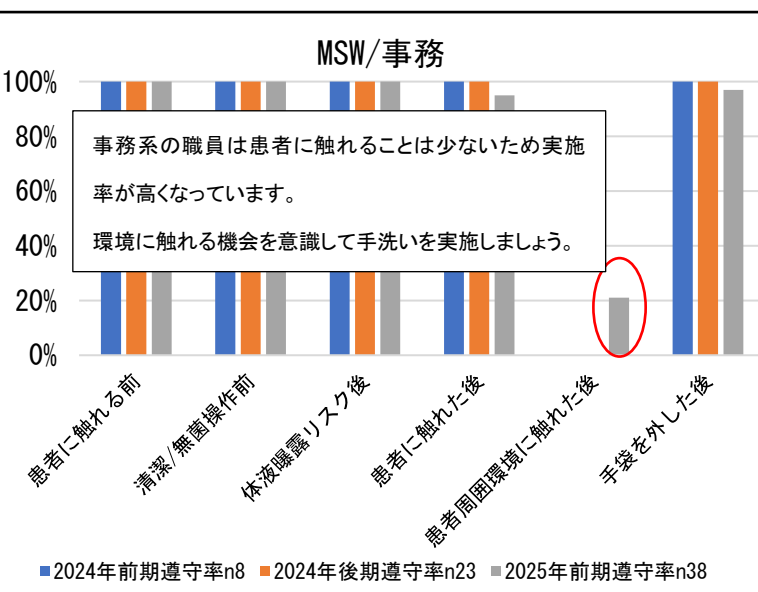
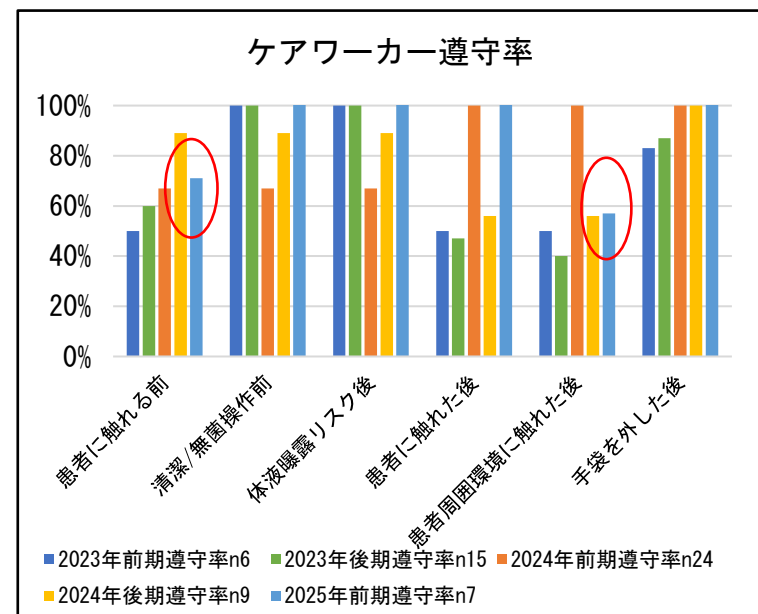
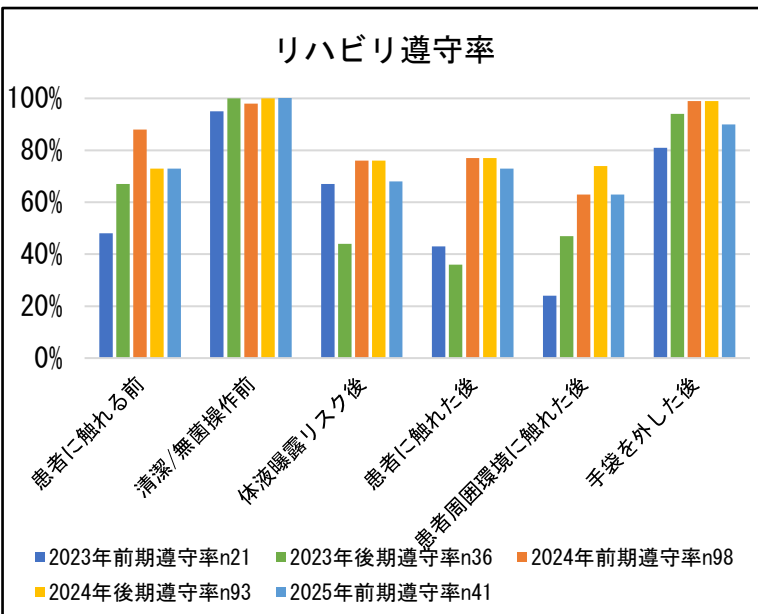
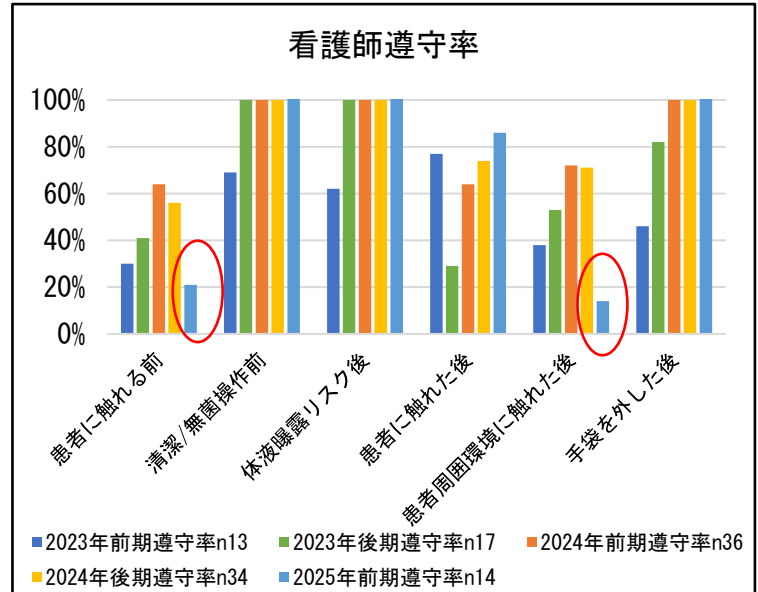
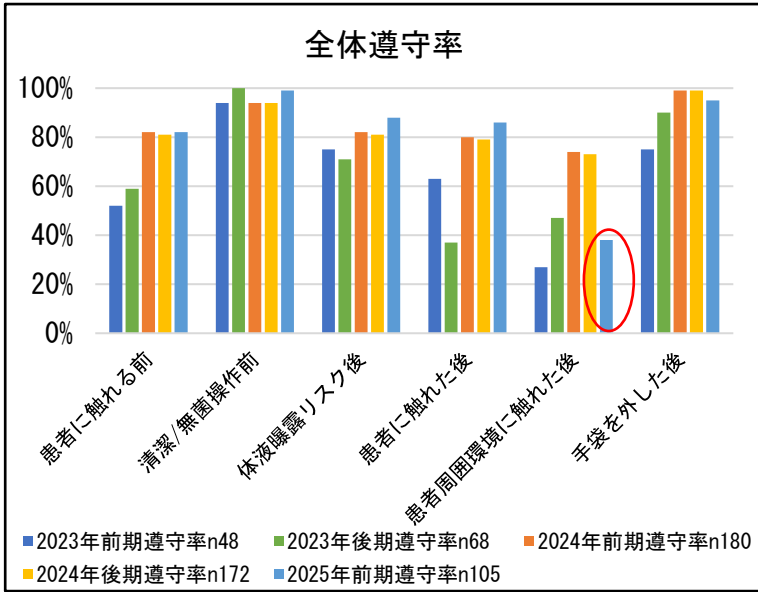


★3 階病棟をはじめ他部署でも使用量が増加しました。

これから流行する冬季感染症に向けて引き続き手指衛生を徹底していきましょう。

# 手指衛生直接観察法結果報告

2023年～2025前期



全体的に患者周囲の環境に触れたあとの実施率が減少しています。自分の手は汚れているという認識で手指衛生を実施していきましょう！